# Cisco 侵入防御システム マネージメントインターフェイス Denial of Service（DoS/DDoS）およびフラグメント化されたパケット回避脆弱性

Low

**アドバイザリーID :** cisco-sa-20060920-ips

**初公開日 :** 2006-09-20 16:00

**バージョン 1.0 :** Final

**CVSSスコア :** 2.3

**回避策 :** Yes

**Cisco バグ ID :**

CVE-2006-4910

**日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。**

## 概要

Cisco 侵入防御システム（IPS）ソフトウェアは不正 な セキュア ソケット レイヤ（SSL）パケットおよびフラグメント化されたパケット回避脆弱性を含む Web管理 インターフェイスでサービス拒否の脆弱性が含まれています。

Web管理 インターフェイス SSL サービス拒否の脆弱性のための回避策があります。 フラグメント化されたパケット IPS 回避脆弱性のための回避策がありません。

Cisco では、該当するお客様用に、これらの脆弱性に対応する無償ソフトウェアを提供しております。

このアドバイザリは http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20060920-ips で掲示されます。

## 該当製品

### 修正済みソフトウェア

Cisco 次の IPS/IDS バージョンは Web管理 インターフェイス SSL サービス拒否問題に脆弱です:

- 4.1(5c) 前の Cisco IDS 4.1(x) ソフトウェア
- 5.0(6p1) 前の Cisco IPS 5.0(x) ソフトウェア

- Cisco IPS 5.1(x) ソフトウェア前の 5.1(2)

Cisco 次の IPS バージョンはフラグメント化されたパケット IPS 回避問題に脆弱です:

- 5.0(6p2) 前の Cisco IPS 5.0(x) ソフトウェア
- Cisco IPS 5.1(x) ソフトウェア前の 5.1(2)

Cisco IPS/IDS ソフトウェアの脆弱なバージョンを実行するすべてのプラットフォームは影響を受けています。 これには 4200 シリーズ アプライアンス、IDSM2、NM-CIDS ルータモジュールおよび ASA IPS モジュールが含まれています ( また高度インスペクションおよび防止 ( AIP ) セキュリティ サービス モジュール[SSM 言われる]と ) 。

SSH によって IPS/IDS デバイスに IPS/IDS デバイス、ログイン動作するソフトウェアのバージョンをまたはコンソールで判別し、コマンド **show version** を発行するため。

```
sensor#show version
Application Partition: Cisco Intrusion
Prevention System, Version 5.1(2)S242.0
```

# 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

IPS 機能セットを含む Cisco IOS® ソフトウェア イメージは仮想 な フラグメント再構成 ( VFR ) が有効に なる場合 IPS 回避脆弱性に脆弱ではないです。 VFR が有効に ならない場合、フラグメント化された IP トラフィックは悪意のあるトラフィックが検出を避けるようにするかもしれない IPS コンポーネントによって点検されません。 詳細については IOS IPS ドキュメントを参考にして下さい。

http://www.cisco.com/en/US/prod/collateral/iosswrel/ps6537/ps6586/ps6634/prod_white_paper0900aecd8043bc32.html

## 改訂履歴

| | | |
|---|---|---|
| リビジョン 1.0 | 2006-August-20 | 初回公開リリース |

## 利用規約